



扇小だより

考える子 思いやりのある子 強い子

令和6年度 第6号

開校50年目

5月13日 児童数756名
入間市立扇小学校

扇小でよさを磨く

学校長 村越 新

5月8日の講話朝会では、以下の話をしました。昨年度も、この時期、同じ話をしました。



皆さんは、学校に何をしに来ているか。それは、自分を磨きに来ているのです。「磨く」とは、「きれいにする」「強くする」「よりよくする」という意味です。学校は、皆さんの「**よさを磨く**」ところです。

「よさ」とは、良いところ、がんばっていること・がんばりたいこと、好きなことです。

放送による朝会となったために、その後は各クラスで次のように、学び合ってもらいました。

- 1 「よさ」について再確認した後、友達のよさを発表する。
- 2 グループ内で、それぞれの「よさ」を学び合う。
- 3 学び合った友達の「よさ」を発表する。
- 4 担任からの話
 - ・担任が感じているクラスのよさについて伝える
 - ・個々のよさと同様にクラスのよさも磨いてもらいたい思いを話す
- 5 講話朝会の「振り返り」*

*先生が「まとめ」をするのではなく、各自が活動を振り返る。

「**振り返り**」は意欲、自己肯定感、見通す力などを高めるために非常に重要な活動。

昨年度同様に「よさ磨き宣言」用紙を配布しました。

「50周年の扇小学校で磨きたいよさ」を全員に2つ書いてもらいます。集まりましたらHPで紹介したり、校内に掲示したりと、皆さんにもお伝えします。扇小に関わる全員で、一人一人の「よさ磨き」を**応援したい**からです。

ご家庭で磨く「よさ」もあるはずです。ぜひ一度、話題にしてみてください。



命を輝かせる教室

講話朝会を始める際に、司会から2つのことを確認しました。放送とはいえ、全校で取り組む大事な時間だからです。

- ・名札をつけている
- ・机三原則ができています

本校では、昨年度の「命の大切さを考える日」に、**命を輝かせる教室**について確認しました。本年度は四月当初から、「学習環境三原則」で子供たちの命を輝かせていこうと確認しています。



扇小学校学習環境三原則 ～命を輝かせるために～

① 机三原則

きれいに**そろっている**、**下**には何も**ない**、**上**に**不要な物がない**

② 前三原則

黒板に**不要な情報**はない、**刺激物**は隠す、**めあて**が書いてある

③ 開始大原則

休み時間内に授業の準備は終わっている



「片づけ」

本校では日課表の改定に伴って、**掃除が週に3回**になりました。回数が減った分、掃除がある日は**無言で**全力で取り組ませたいと考えています。同時に、日々の整理整頓や活動後の「片づけ」がとても大事になってきます。

『「片づけ」ができる子は成績も伸びる』（多湖輝、新講社 2012.9）は、「片づけ」の大切さについて、以下のような貴重な示唆を与えてくれています。

- ◆片づけができる子は**学習習慣**が身につく。片づけないと新しい作業を始めることができないから。
- ◆片づけを通して、成長していく上で大切な大部分を学べる。**協力**し合うこと、他人に**親切**にすること、**公正・公平**に行動することなど。
- ◆片づけができる子は「学習習慣」が育つ。「**時間管理**」ができる。「ものを大切にする」。他にも、**思いやり**の心が育つ。**責任感**が育つ。公平の意味を理解できる。社会の**ルール**、家庭のルールがわかってくる。生きる力が育つ。